



前進座創立90周年記念 京都初春特別公演



劇場を笑いの渦に巻き込んだ山田洋次×前進座『裏長屋騒動記』第二弾!!

一万石の殿様が
長屋の娘に片想い?!
生きるか死ぬかで大騒ぎ、
笑う門には福来たる!



脚本=山田洋次・朱海青
監修=山田洋次
演出=小野文隆
いちまんごく

一万石の恋

うらながやそうどうき
裏長屋騒動記

かなでほん
恋の仮名手本篇

新春観劇のつどい

2022年 1月16日(日) 午後の部 3:30開演 (3:00開場) 京都駅ビル内 **京都劇場**

後援会料金 1等 7,200 (定価 10,000 円) 2等 4,000 円 (定価 5,000 円)

お申込み ◆ 京都府日本共産党後援会 TEL: 075-211-5371 FAX: 075-212-7453
〒604-0092 京都市中京区丸太町新町角大炊町186 MAIL: jcp.koen@gmail.com

※本公演は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染予防、拡散防止に細心の注意を払い、上演致します。

監修＝山田洋次
脚本＝山田洋次・朱海青
演出＝小野文隆

恋の一万石

いちまんご
うらながやそうとうき
裏長屋騒動記
かなでほん
恋の仮名手本篇

「男はつらいよ」寅さんシリーズでおなじみの山田洋次監督が、
コロナとたたかう日本中の皆様にお届けする舞台最新作！

古典落語「妾馬」を題材に、長屋の娘に片思いするお殿様の、ちょっぴり切なく、とびきり可らしい、「恋の不時着」物語。
ハチャメチャな長屋の住人の価値観と愛を貫く娘の真心がぶつかって、抱腹絶倒の喜劇誕生！



装置Ⅱ 中嶋正留 照明Ⅱ 石島奈津子
音楽Ⅱ 中島千絵 効果Ⅱ 川名あき
デザインⅡ 市川きよあき事務所 イラストⅡ 斎藤美奈子・ボツフォード
制作Ⅱ 楠脇厚子・森田賢・加藤史子

新しい物語を生み出すこととなった。古典落語「妾馬」が題材だが、この「一万石の恋」では落語とは真逆の結末が待っていて、愛する人のためには命を投げ出す覚悟の乙女の宣言に、愚かな殿様やアホな家臣たち、そして無責任な長屋の住人たちが、ドタバタ騒ぎを演じることになる。

長屋の井戸端で交わされる可笑しい会話や、恋人同士の甘いラブシーンに、胸をワクワクさせてほしい。そしてマスクの下から思わず漏れる笑い声で会場が満たされることを期待して、前進座の皆さんと一緒に汗をかこうと思う。



山田洋次監督からの
メッセージ

一生懸命準備した大切な芝居を、ステージに乗せられなくなるという、異様な事態が演劇人を苦しめ続けている。そんな状況下でありながら、この秋、前進座の皆さんと再び

た奇策とは!?

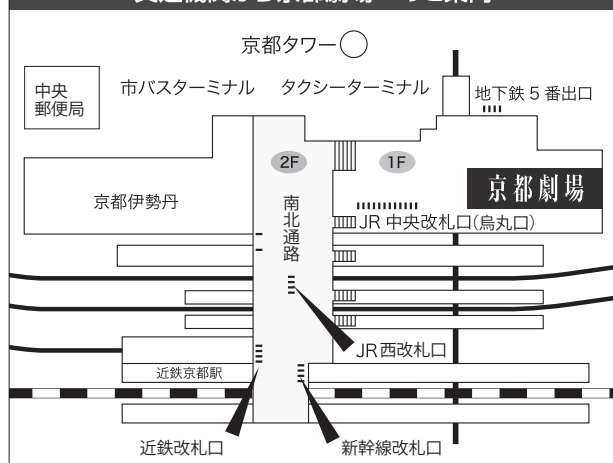
「あの人と一緒にいたいなら私は死ぬよ!」命がけの恋を前に、周りの説得も無力。しかしお断りしたらどんなお咎めを受けることやら...震えあがった長屋一同が窮地を脱するべくひねり出した奇策とは!?

そんなある日、お殿様は下城途中で腹痛をおこし、掃き溜めのような裏長屋で粗末な廁を借りる羽目に「これ手水を持って!...おずおずとひしゃくの水を差しだした長屋の娘・お鶴に、お殿様は一目惚れ。家臣たちは大喜び!」すぐさまあめの娘を召し抱える!。話を聞いたお鶴の母や兄をはじめ、長屋一同も「大変な出世だ!」支度金がつまんり下される!と盛り上がる。

●あらずし
一万石の弱小藩のお殿様・赤井御門守国定は、女嫌いの芝居好き。今日も今日とて江戸藩邸で、お小姓相手に芝居「ここ。このままではお世継ぎもなく、藩はお取り潰し!」家臣たちは頭が痛い。

そんなある日、お殿様は下城途中で腹痛をおこし、掃き溜めのような裏長屋で粗末な廁を借りる羽目に「これ手水を持って!...おずおずとひしゃくの水を差しだした長屋の娘・お鶴に、お殿様は一目惚れ。家臣たちは大喜び!」すぐさまあめの娘を召し抱える!。話を聞いたお鶴の母や兄をはじめ、長屋一同も「大変な出世だ!」支度金がつまんり下される!と盛り上がる。

交通機関から京都劇場へのご案内



京都駅中央改札口(烏丸口)から徒歩1分

新幹線JR・近鉄京都線・京都市営地下鉄各線京都駅下車徒歩約4分
〒600-8216 京都府京都市下京区烏丸通塩小路下 Tel. 075-341-2360

京都劇場

2022年 1月8日(土)～17日(月)
午前の部 11:00開演/午後の部 15:30開演

日頃は日本共産党後援会に多大なご支援ご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。
毎年楽しみにされている前進座京都初春公演、二〇二二年は前進座創立九〇周年記念として行われます。今回は、前進座と同じ一九三一年生まれの山田洋次監督による最新作、古典落語「妾馬」を題材とした「一万石の恋」となり、京都劇場での公演です。

京都府日本共産党後援会

事務局長・北山忠生
世話人一同